

NPO 法人口から食べる幸せを守る会 第2回大会 in 横須賀

～開催概要～

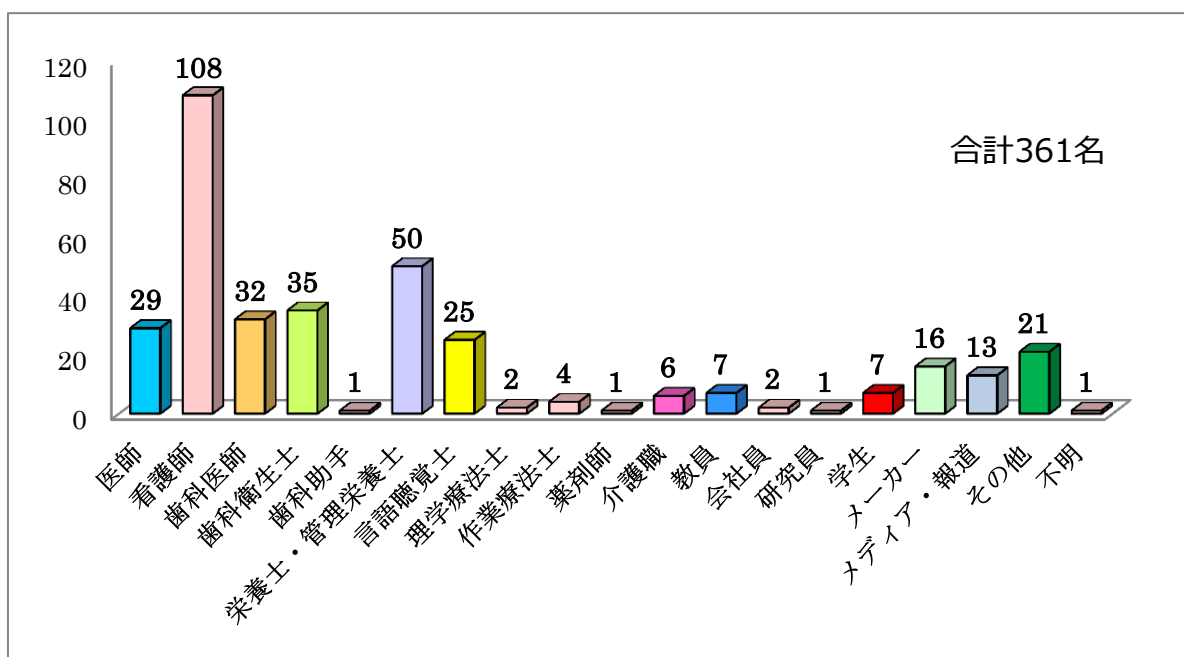
NPO 法人口から食べる幸せを守る会 第2回大会が2014年7月12・13日に神奈川県立保健福祉大学にて行われました。

会の開催にあたり、ご支援・ご尽力いただいた多くの皆さまに感謝申し上げます。

おかげさまで約400名の参加者、23社の企業様にご出展いただき、盛況に会を終えることができました。ご参加いただきましてありがとうございました。

第3回大会は2015年7月11日（土）に神奈川県で開催予定です。

◇職種別参加者数



◇都道府県別参加者数

北海道	3	東京都	45	滋賀県	0	香川県	0
青森県	1	神奈川県	97	京都府	1	愛媛県	2
岩手県	0	新潟県	1	大阪府	8	高知県	0
宮城県	14	富山県	3	兵庫県	4	福岡県	15
秋田県	3	石川県	6	奈良県	0	佐賀県	0
山形県	1	福井県	1	和歌山県	4	長崎県	7
福島県	5	山梨県	9	鳥取県	0	熊本県	9
茨城県	6	長野県	3	島根県	1	大分県	0
栃木県	0	岐阜県	3	岡山県	5	宮崎県	1
群馬県	5	静岡県	4	広島県	6	鹿児島県	0
埼玉県	6	愛知県	6	山口県	0	沖縄県	8
千葉県	16	三重県	3	徳島県	2	不明	47
						合計	361

～第2回大会の様子～



神奈川県立保健福祉大学にて



抄録&KTSMバック



シンポジウムの様子



皆様、熱心に聞いています



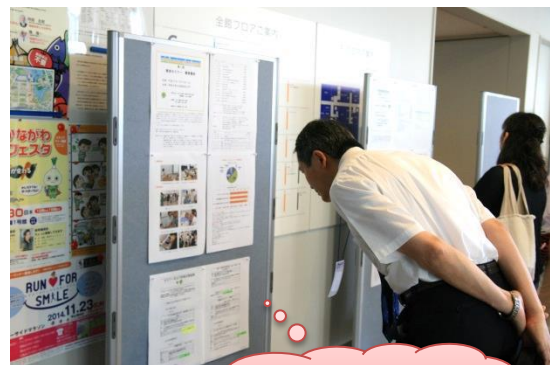
出展ブース



たくさんの企業様にご出展いただきました



NHKの取材を受けました！



ポスター発表

NHK ニュース 7 にて大会の様子が放映されました！

NHK NEWSWEB

2014年（平成26年）7月15日【火曜日】

トップページ > 科学・医療ニュース一覧 > 「食べる力を」医療と介護の全国大会

ニュース詳細

「食べる力を」医療と介護の全国大会

7月12日 18時36分



高齢や病気で飲み込む機能が落ちた人たちに食べる力を取り戻そうと、医療や介護に携わる人たちが集まる全国大会が12日、神奈川県で開かれ、最新の研究成果や課題について意見を出し合いました。

これは看護師や医師などで作るNPOが開いたもので、横須賀市の会場には全国

の医療従事者や介護に携わる人などおよそ400人が集まりました。

会場では、肺炎などを患って食べる機能が落ちて、できるかぎり食べることで生きる力を取り戻すことができたという実例が紹介されました。

このうち東名厚木病院の山下巖医師は、去年、入院した75歳以上の肺炎患者120例を検証したところ、最大5日あれば9割近くがある程度食べられるようになったとしたうえで、「救急医療の現場で不必要に食事を制限している場合があり、考え直すべきだ」と指摘しました。

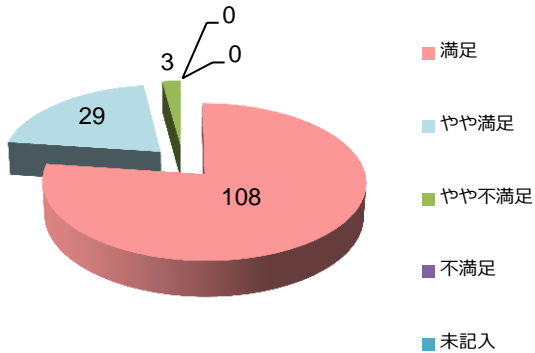
また、患者の家族を代表して重度の脳障害がある夫を持つ東京・町田市の持田ひろ子さんは、最初入院した病院で食べさせることができないと判断されたものの、別の病院では食べながら治療が続けられているとして、「食べることに挑戦する可能性を閉ざさないための体制作りが必要だ」と訴えました。

NPOの理事長で看護師の小山珠美さんは「専門家の力を結集して1人でも多くの人の『食べたい』という願いを実現していきたい」と話していました。

大会参加者アンケート&感想

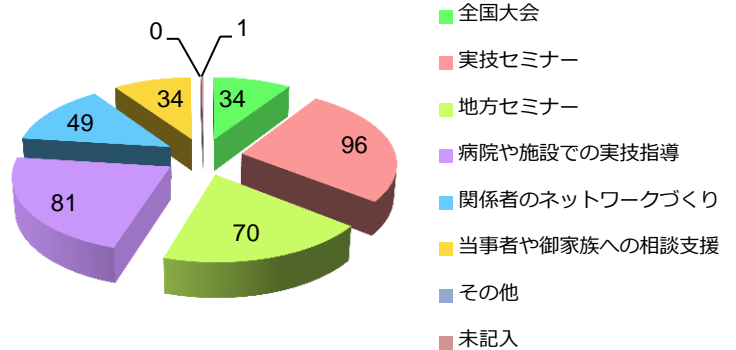
第2回大会の内容に関して

n=140



今後のKTSMに期待する活動（複数選択可）

n=365



- ・今回はじめて参加しましたが様々な立場の方からのアプローチ法や思いを知るいいキッカケになりました。STとしてどこかリスクが先立ってしまいブレーキをかけていたところがあると感じました。いかにして口から食べて幸せにいきっていくかを模索していきたいです。／言語聴覚士
- ・誤嚥性肺炎は食べて治すの考えに賛同します。腰の重い大きな学会を動かすためにはエビデンスの集積と成功例の発表が必要と考えます。／医師
- ・当事者ご家族の話はやはり私たち医療者の心を動かします。少しでも食べられる能力が引き出せるように関わっていききたいです！／看護師
- ・様々な専門分野の先生方の話がとても勉強になりました。チームの中で自分が何をすべきなのか役割は何かをしっかりと考えたいと思います。自宅へ帰る患者さんやご家族は不安でいっぱいです。安心して自宅へ帰れて生活できるようサポートしていきたいです。／管理栄養士
- ・日頃の悩みや一人ではどうしてもうまくいかなくてモチベーションもさがる事も多かったのですが、多くの講演を聞き、元気・勇気をもらい、「私がやらなければ」精神がみなぎりました。でも、同じ病院で多くの同志が参加し、一緒に取り組んでくれる仲間をもっと作る事が大切だと感じました。／看護師
- ・熱い思いが全国の医療者、介護関係者に伝わり多くの方が知識をもち行動できるようになる日が近づいているように感じました。／歯科衛生士

(一部紹介)



第2回大会 in 横須賀 プログラム

◆大会1日目

8:40-	開場・受付開始	7/12(土)
9:30-9:40	開会挨拶	7/12(土)
9:40-10:30	基調講演	7/12(土)
*日本摂食・嚥下リハビリテーション学会公認セミナー		
テーマ：「口から食べる幸せ」をサポートできる高齢社会の実現を！		
座長：三村 卓司 氏（金田病院 外科部長 副院長 医師）		
演者：小山 珠美 氏（NPO 法人 口から食べる幸せを守る会 理事長/ 社会医療法人社団三思会 法人本部 摂食嚥下サポート担当 看護師）		
10:30-10:45	休憩	7/12(土)
10:45-11:45	口演	7/12(土)
テーマ：多職種連携によるチープアプローチによるもの		
座長①：藤本 篤士 氏（札幌西円山病院 歯科 歯科診療部長 歯科医師）		
テーマ：地域連携での食支援に関するもの		
座長②：野口 晃 氏（町立富来病院 医師）		
11:50-12:30	ポスターセッション	7/12(土)
13:00-13:30		
12:00-13:30	昼休憩	7/12(土)
12:00-12:50	ランチョンセミナー	7/12(土)
テーマ：「口から食べる栄養」～私たちの体には何が必要か～		
座長：川端 直子 氏（広島市立リハビリテーション病院 看護師）		
演者：吉田 貞夫 氏（沖縄メディカル病院 内科 医師/金城大学 客員教授）		
共催：ネスレ日本（株）ネスレヘルスサイエンスカンパニー		
13:30-14:00	NPO 法人 通常総会（会員のみ）	7/12(土)

14:20-16:30 セッション1

7/12(土)

テーマ：「誤嚥性肺炎」～どう戦い、どう手なづけ、どう食べ続けるか～

座長：安西 秀聡 氏 (NPO 法人口から食べる幸せを守る会 副理事長/東名厚木病院 総合診療科 医師)

座長：水戸 優子 氏 (神奈川県保健福祉大学 大学教授 看護師)

演者①：山下 巖 氏 (東名厚木病院 救急部 副院長 医師)

演者②：米山 武義 氏 (米山歯科クリニック 院長 歯科医師)

演者③：安西 秀聡 氏 (東名厚木病院 総合診療科 医師)

演者④：竹本 喜一 氏 (東海大学大磯病院 リハビリテーション室 言語聴覚士)

演者⑤：持田 ひろ子 氏 (当事者ご家族)

演者⑥：山崎 摩耶 氏 (前衆議院議員・元日本看護協会常任理事)

17:15-18:00 イブニングセミナー

7/12(土)

***日本摂食・嚥下リハビリテーション学会公認セミナー**

テーマ：「高齢者のサルコペニアから発生する重度嚥下障害のメカニズムと対処」

座長：白坂 誉子 氏 (セントマーガレット訪問看護ステーション 看護師)

演者：若林 秀隆 氏 (横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科 医師)

19:00-21:30 懇親会

7/12(土)

◆大会2日目

8:30-9:10 モーニングセミナー

7/13(日)

テーマ：「チーム医療のソコチカラ」

座長：大城 清隆 氏 (豊見城中央病院 看護部 看護師)

演者：秋山 和宏 氏 (一般社団法人チーム医療フォーラム 代表理事/東葛クリニック病院副院長 医師)

9:10-9:30 休憩

7/13(日)

9:30-11:40 セッション2

7/13(日)

テーマ：「食べる」を繋ぐ地域連携 ～食べたい・食べさせてあげたいをサポートするために～

座長：古屋 聡 氏 (山梨市立牧丘病院 院長 医師)

座長：福田 哲士 氏 (産経新聞出版社 編集部)

演者①：小川 滋彦 氏 (小川医院 院長 医師)

演者②：渡辺 啓子 氏 (九州中央病院 医療技術部栄養管理科 総括 管理栄養士)

演者③：一瀬 浩隆 氏 (山谷歯科医院 歯科医師)

演者④：奥山 昭子 氏 (当事者家族)

11:50-12:00 閉会挨拶

7/13(日)